配当金と有価証券利息

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「受取配当金」勘定（営業外収益）

「有価証券利息」勘定（営業外収益）

（1）配当金を受け取った場合

配当金を受け取った場合、「**受取配当金**」勘定（**営業外収益**）で処理します。また、配当金の代金として、配当金領収書を受け取る場合があります。この**配当金領収書**は**簿記上の現金**であるため、「**現金**」勘定（資産）で処理します。

例題　**保有するA社株式について、配当金領収書200円を受け取った。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**200**	**受取配当金**	**200**

（2）利息を受け取った場合

公社債の利息を受け取った（利払日が到来した）場合、「**有価証券利息**」勘定（**営業外収益**）で処理します。公社債の利息は、公社債の債券に付いている利札のうち利払日が到来した分を切り取って金融機関に持ち込むと換金してもらえます。この**期限到来後の公社債利札**は**簿記上の現金**であるため、「**現金**」勘定（資産）で処理します。

例題　**保有するB社社債について、利札100円の利払日が到来した。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**100**	**有価証券利息**	**100**

端数利息

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　端数利息の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

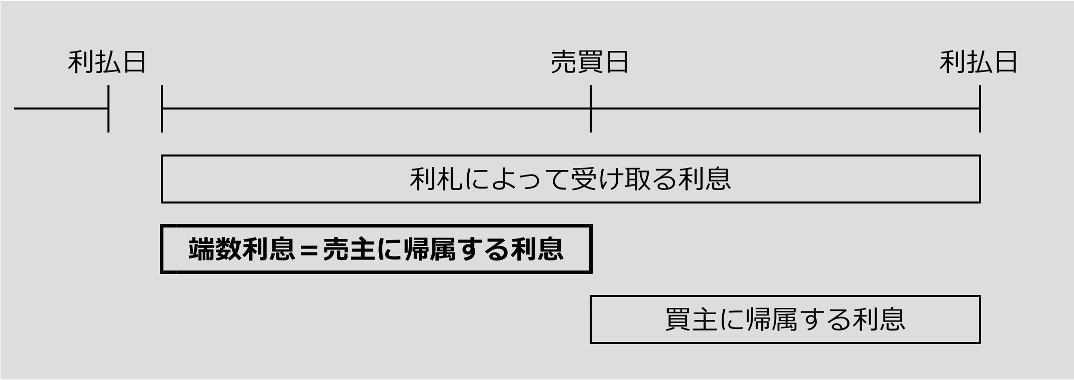
主な勘定科目

「有価証券利息」勘定（営業外収益）

（１）端数利息の計算

　端数利息（経過利息）とは、公社債の売買を利払日以外の日で行った時に、直近の利払日の翌日から売買日までの利息をいいます。

　利払日以外で公社債の売買を行った場合、売主は利札が付いた債券を買主に渡すので、直近の利払日の翌日から売買日まで売主が保有していた期間に対応する利息分も含めて、次の利払日に買主が全額利息を受け取ります。そこで、売買当事者間で保有期間に対応する利息（端数利息）の精算を売買時に行います。



　端数利息の計算は原則として、直近の利払日の翌日から売買日までの**日割計算**で行います。ただし、問題の指示によっては**月割計算**を行う場合があります。なお、利払日における利息受取額の計算や収益の未収・費用の未払等の計算は通常、**月割計算**で行います。

（2）売主の処理

例題　**2030年7月20日に社債9,500円（売買目的、額面総額10,000円）を額面100円につき96円で売却し、代金は端数利息とともに小切手で受け取った。なお、利息は年利率7.3%、利払日は年2回（6月末、12月末）の条件である。**
売却時の仕訳を答えなさい。端数利息は日割計算すること。

・売却時（2030年7月20日）

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
現金	**9,640**	**売買目的有価証券**	**9,500**
		有価証券売却益	**100**
		有価証券利息	**40**

現金：売却価額9,600＋端数利息40＝9,640

売却価額：額面10,000÷@100×@96＝9,600

有価証券売却益：売却価額9,600－取得原価9,500＝100

有価証券利息：額面10,000×7.3%÷365日×20日＝端数利息40

以下のように２つの仕訳を考えるとわかりやすいでしょう。

①　売買目的有価証券の売却

現金	9,600	売買目的有価証券	9,500
		有価証券売却益	100

②　端数利息の受取

現金	40	有価証券利息	40

（3）買主の処理

例題　**2030年7月20日に売買目的で、社債額面総額10,000円（額面100円につき96円）で購入し、代金は端数利息とともに小切手を振り出して支払った。なお、この社債は年利率7.3%、利払日は年2回（6月末、12月末）の条件である。**
購入時と利払日（2030年12月末）の仕訳を答えなさい。端数利息は日割計算、その他の利息は月割計算すること。

・購入時（2030年7月20日）

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
売買目的有価証券	**9,600**	**当座預金**	**9,640**
有価証券利息	**40**		

売買目的有価証券：額面10,000÷@100×@96＝9,600
有価証券利息：額面10,000×7.3%÷365日×20日＝端数利息40
（注）端数利息を支払うと、有価証券利息勘定（収益）が借方残高となりますが、利払日に利札分を有価証券利息勘定（収益）の貸方に計上し、適正な金額となります。

以下のように２つの仕訳を考えるとわかりやすいでしょう。

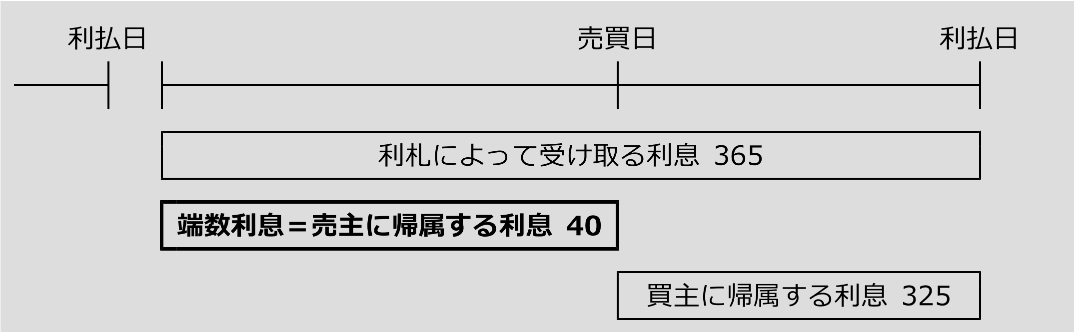
①　売買目的有価証券の取得
売買目的有価証券　9,600 / 当座預金　9,600

②　端数利息の支払
有価証券利息　40 / 当座預金　40

・利払日（2030年12月31日）

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
現金	**365**	**有価証券利息**	**365**

有価証券利息：額面10,000×7.3%÷12ヶ月×6ヶ月＝365



有価証券①　問題

問題1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

① 2030年7月31日に、A社社債（期間5年、利率年7.3%、利払日は3月末と9月末の年2回）額面総額1,000,000円を満期保有目的で額面100円につき97円で購入し、代金は売買手数料4,000円と端数利息とともに小切手を振り出して支払った。1年は365日とする。なお、決算日は2031年3月31日である。

② 2030年4月20日に@98円で取得し、売買目的で保有していたB社社債（期間10年、利率年7.3%、利払日は3月末と9月末の年2回）額面総額200,000円を2030年12月14日に額面100円につき99円で売却し、代金は端数利息とともに小切手で受け取った。1年は365日とする。なお、決算日は2031年3月31日である。

③ 当社が保有するＣ社株式10株について、1株あたり300円の配当を現金で受け取った。

④ 2030年５月1日にＧ社株式10株を１株あたり20,000円で購入し、代金は購入手数料5,000円とともに小切手を振り出して支払った。なお、G社株式はその他有価証券に区分する。

⑤ 2030年7月1日にＨ社株式100株を１株あたり5,000円で購入し、代金は購入手数料7,000円とともに小切手を振り出して支払った。なお、Ｈ社は当社の関連会社となった。

有価証券①　答案用紙

問題1

	借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
①				
②				
③				
④				
⑤				

有価証券①　解答解説

問題1　**解答**

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
①	満期保有目的債券	974,000	当座預金	998,400
	有価証券利息	24,400		
②	現金	201,000	売買目的有価証券	196,000
			有価証券売却益	2,000
			有価証券利息	3,000
③	現金	3,000	受取配当金	3,000
④	その他有価証券	205,000	当座預金	205,000
⑤	関連会社株式	507,000	当座預金	507,000

問題1　**解説**

①　端数利息は原則として直近の利払日の翌日から売買日までの日数を日割計算します。

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
満期保有目的債券	**974,000**	**当座預金**	**998,400**
有価証券利息	**24,400**		

満期保有目的債券：額面1,000,000× $\frac{97}{100}$ ＋売買手数料4,000＝974,000

有価証券利息：額面1,000,000×7.3%÷365日×122日＝端数利息24,400

経過日数：30日＋31日＋30日＋31日＝122日

（注）以下のように２つの仕訳を考えるとわかりやすいでしょう。

ⅰ　満期保有目的債券の取得

満期保有目的債券　974,000 / 当座預金　974,000

ⅱ　端数利息の支払

有価証券利息　24,400 / 当座預金　24,400

②　端数利息は原則として直近の利払日の翌日から売買日までの日数を日割計算します。

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
現金	**201,000**	**売買目的有価証券**	**196,000**
		有価証券売却益	**2,000**
		有価証券利息	**3,000**

売買目的有価証券：額面200,000× $\frac{98}{100}$ ＝取得原価196,000

有価証券売却益：額面200,000× $\frac{99}{100}$ －取得原価196,000＝2,000

有価証券利息：額面200,000×7.3%÷365日×75日＝端数利息3,000

経過日数：31日＋30日＋14日＝75日

（注）以下のように２つの仕訳を考えるとわかりやすいでしょう。

ⅰ　売買目的有価証券の売却

現金　198,000 / 売買目的有価証券　196,000
有価証券売却益　2,000

ⅱ　端数利息の受取

現金　3,000 / 有価証券利息　3,000

③　配当金を受け取った場合、「受取配当金」勘定（営業外収益）で処理します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
現　　　　　　金	**3,000**	**受　取　配　当　金**	**3,000**

受取配当金：@300×10株＝3,000

④　購入手数料等の付随費用は取得原価に含めます。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
その他有価証券	**205,000**	**当　座　預　金**	**205,000**

その他有価証券：@20,000×10株＋付随費用5,000＝205,000

⑤　購入手数料等の付随費用は取得原価に含めます。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
関 連 会 社 株 式	**507,000**	**当　座　預　金**	**507,000**

関連会社株式：@5,000×100株＋付随費用7,000＝507,000